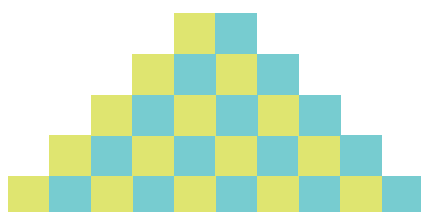
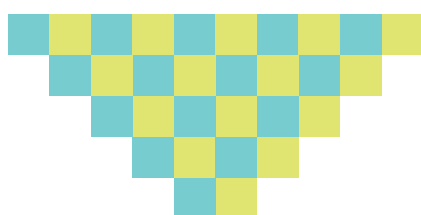


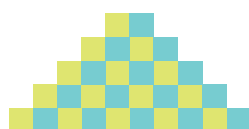
特別支援教育向け情報モラル教材



SNS の
「上手なつかいかた」
を考えよう

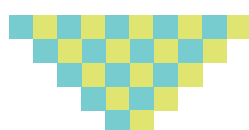
SNS でのソーシャル・スキルのトレーニング





SNS の 「上手なつかいかた」 を考えよう

SNS でのソーシャル・スキルのトレーニング



目次

教員アンケート	2
■ 「SNS での写真の公開」を考えてみよう	
指導案	4
ワークシート記入例	6
スライド例	7
■ 「SNS を使ったコミュニケーション」を考えてみよう	
指導案	8
ワークシート記入例	10
スライド例	11
実践報告	12
ワークシート、カード	14

教員 アンケート

本教材の作成に先立ち、現在、特別支援学校においてどのような情報モラルの指導が行われているのか、また、どのような教材が求められているのかを調査するため、特別支援学校（知的障害）の教員を対象に、情報モラル教育に関するアンケートを実施した。

アンケートの実施概要

本調査の実施時期は2018年9月から10月まで、対象は静岡県内の特別支援学校4校に勤務する教員である。回答を得られたのは84名（男性42名、女性41名、無回答1名）であった。所属の内訳は、小学部5名、中学部4名、高等部73名、その他/不明2名である。

アンケート結果

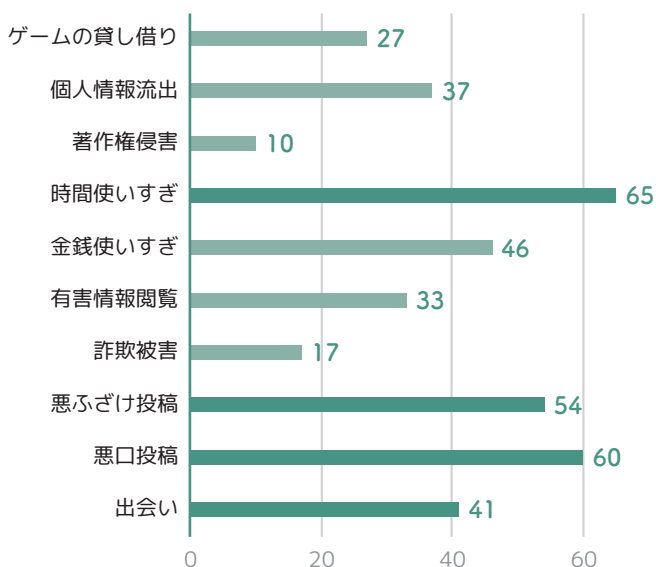
特別支援学校（知的障害）でのネットトラブル事例について

まず、これまでに聞いたことのあるトラブル事例について質問した。結果は下記（図1）のとおりである。高等部では「使い過ぎ（時間）」のほか、「悪口・誹謗中傷」「悪ふざけの投稿」「ネット上での出会い」という、ネット上でのコミュニケーションやSNSへの投稿場面におけるトラブル事例が多く挙げられた。

また、選択肢以外のトラブル事例に関する自由記述では、以下のような事例が挙げられている。

図1

「これまでに聞いたことのあるトラブル事例（高等部）」



<トラブル事例（自由記述）>

- ・学校から帰宅後、Youtubeを長時間見て過ごす
- ・夜中もゲームをして昼夜逆転
- ・課金で数万円請求された
- ・ゲームのやりすぎによる睡眠不足や生活の不規則
- ・電話やLINEで反応がなかったので、しつこくメールを送る
- ・LINEはずし
- ・LINEで友人の悪口を言う
- ・SNSへの個人情報の入力
- ・SNSでの言葉の取り違い
- ・公共交通機関で写真を撮ってしまう
- ・性の問題
- ・仲間内でのグループにあげた動画をタイムラインにのせてしまった
- ・スクリーンショットでメッセージ内容を他人に見せる

知的障害のある子どもの間でも情報機器がコミュニケーションツールとして機能している一方、相手の状況を推察するのが難しいといった障害の特性に起因するトラブルが少なからず起こっているようであった。また、「スクリーンショットでメッセージ内容を他人に見せる」「公共交通機関で写真を撮ってしまう」といった事例は、プライバシーや個人情報保護などに関する理解が浅いことに基づくトラブルである。これらのトラブルは、情報モラルに関する指導を丁寧に行うことで、未然に防ぐことのできる可能性が高いと考えられる。



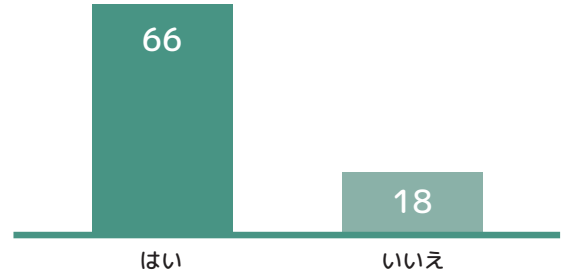
情報モラル教育の実施状況について

これまでの情報モラル教育の実施状況について質問した。結果は、右図(図2)のとおりである。

図2

「これまでに情報モラル教育を行ったことはありますか？」

情報モラル教育自体は、多くの学校で行われているようである。しかし、実施者の内訳を見ると、担任自身が実施したのは約35%で、外部講師への依頼が多いようであった。教員自身が情報モラル教育を実施しづらいことは課題であると考えられることから、誰でも扱いやすい教材の開発が望まれるだろう。



情報モラル教育で指導すべき内容について

特別支援学校の教員が実施したいと考える情報モラル教育の内容に関する調査を行った。扱うべきだと思う内容に3位まで順位付けをして回答を得た。結果は図3(1位)、図4(2位)、図5(3位)である。

「知的障害のある子どもにどんな指導が必要だと思いますか？」

図3

1位

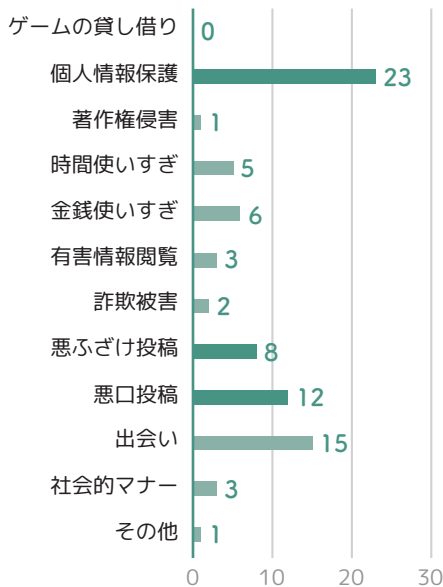


図4

2位

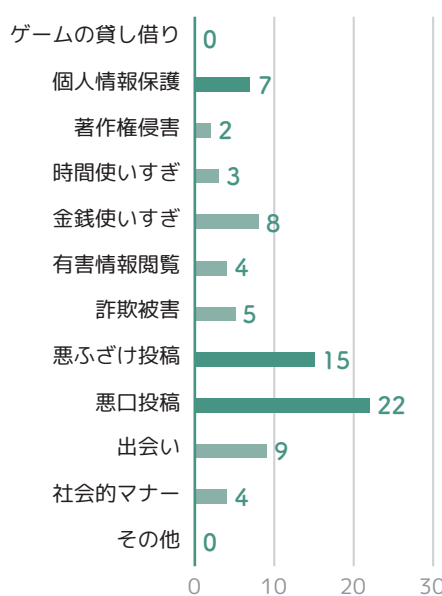
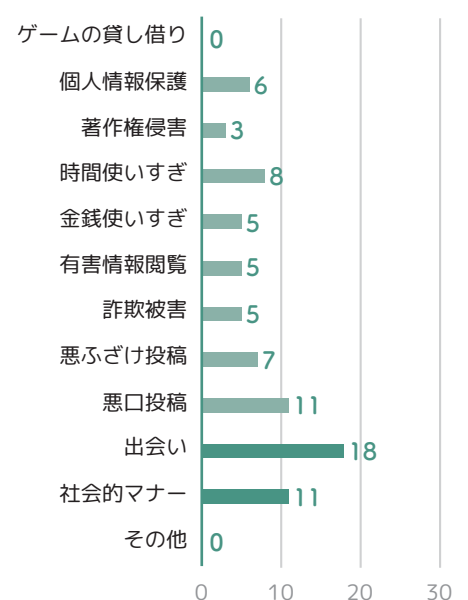


図5

3位






1位・2位では「個人情報保護」「悪ふざけの投稿」「悪口・誹謗中傷」の項目が、3位では「ネット上での出会い」が多い。また、卒業後を意識した「社会的マナー」の回答もみられる。情報モラル教育においても、トラブル事例に依拠するだけでなく、将来の生活を見据えて指導する必要があると考えられる。

「SNSでの写真の公開」を考えてみよう

授業のねらい

- ・ SNSの種類や特性についての理解を深め、「公開してよい写真」・「公開してはいけない写真」を分類したり、写真を撮影したりする活動を通して、SNS利用において自己や他者の個人情報を保護しようとする態度を養う。

授業の展開

時間	学習活動	スライド内容 ○準備物
5分	<p>1. 写真公開から起こり得るトラブルについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の、普段のSNS利用について振り返る。 ・ 本時のテーマを紹介する。 ・ 友人と一緒に写った写真を、無断でSNSに公開したことに起因するトラブルについて考える。 	<p>トラブルになってしまったのは、どうして?</p>  <p>なぜ、みさきさんは、おどろいてしまったのでしょうか?</p> <p>みさきさんの許可をとらずに、一緒に写った写真を公開してしまったから</p> <p>○大型モニター ○PC ○授業スライド</p>
5分	<p>2. SNSの種類やそれぞれの特徴の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「たくさんの人が見られるSNS(=オープンSNS)」と「決められた人だけが見られるSNS(=クローズドSNS)」について紹介する。 ・ 「たくさんの人が見られるSNS」の危険性を説明する。 	<p>SNSの種類</p>  <p>この公開した写真は、どんな人が見ているでしょうか?</p> <p>友だちだけでなく、世界中の知らない人も見ることができる</p> <p>SNSの種類</p> <p>LINE(ライン)は、友だちや家族など、決められた人だけが見られるSNSです。</p> <p>多く、歩いて運んだ相手だけが、しゅん、どうが、写真や動画を見たり、メッセージをやりとりしたりすることができます。</p>  <p>○大型モニター ○PC ○授業スライド</p>



3. 「写真を公開してよい範囲」について考える

それぞれの SNS に公開してもよい写真とは、どんなものだろうか。

・ 5 枚のカード (写真) を、以下の 3 つに分類する。

- ① たくさんの人が見る SNS に公開してもよい
- ② 決められた人だけに送ってもよい
- ③ SNS に公開しないほうがよい

⇒ 最初の 5 枚を用いて、まずは個人で分類を考え、ペアやグループで分類を検討した後、正解の発表と解説を行う。

・ 1 回目の解説を踏まえ、類似のカード 5 枚を再び分類し、話し合った後、正解発表と解説をする。

15分



- 大型モニター
- PC
- 授業スライド
- カード (5 枚×2 種)
- ワークシート

4. 「SNS に公開してもよい写真」を撮影する

・ 「たくさんの人が見る SNS に公開してもよいと思う写真」をタブレットで撮影する。

・ グループや学級全体で、撮影した写真を互いに見合い、「たくさんの人が見る SNS」に公開してもよいか、話し合う。

20分

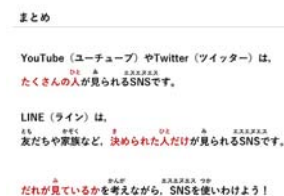


- 大型モニター
- タブレット

5. 本時のまとめ



- ・ SNS には 2 つの種類があることを確認する。
- ・ SNS を使う際には、「誰が見ているかを考えながら、SNS を使い分ける」ことをおさえる。

5分



- 大型モニター
- PC
- 授業スライド

ワークシート記入例

SNSの種類	名前
<p>YouTube (ユーチューブ)・Twitter (ツイッター)</p> <p>たくさんの人が見られる SNS です。</p> <p>世界中の人が、写真や動画を見ることができます。</p>	
<p>LINE (ライン)</p> <p>決められた人だけが見られる SNS です。</p> <p>送った相手だけが写真や動画を見たり、メッセージをやりとりしたりできます。</p>	

A

正解

たくさんの人が見る SNS に公開しても良い	決められた人だけに送っても良い	SNS に公開しないほうがよい
<p>1 自分で作ったケーキの写真</p>	<p>3 友達と一緒に撮った写真</p> <p>3 自分の車を撮った写真</p>	<p>4 ほかのでかい服を撮った写真</p> <p>2 自分の住所が写った写真</p>
<p>2 修学旅行で撮った風景の写真</p>	<p>3 自分の学校を撮った写真</p>	<p>5 自分の筋トレの成果を撮った写真</p> <p>4 自分の電話番号が写った写真</p> <p>1 先生の話を撮った写真</p>

B

B

スライド例

スライド資料、ワークシート、カードデータは、NPO 法人まちなびやホームページからダウンロードできます。

NPO 法人まちなびや ホームページ
<http://machinabiya.com>

みなさんは、SNSの「上手なつかいかた」を考えよう

NPO 法人まちなびや

授業のテーマ

みなさんは、SNSをつかったことがありますか？



SNSとは・・・
 Social Networking Serviceを略したもので、人と人とつながり、交流するサービスのこと。

授業のテーマ

SNSをつかって、こまったり、トラブルにあってたりしたことはないかな？



「SNSでの写真の公開」を考えよう！

トラブルになってしまったのは、どうして？



なぜ、みさきさんは、おどろいてしまったのでしょうか？

みさきさんの許可をとらずに、一緒に写った写真を公開してしまったから

SNSの種類



この公開した写真は、どんな人が見ているのでしょうか？

友だちだけでなく、世界中の知らない人も見ることができ

SNSの種類



この公開した動画は、どんな人が見ているのでしょうか？

友だちだけでなく、世界中の知らない人も見ることができ

SNSの種類

YouTube（ユーチューブ）やTwitter（ツイッター）は、**たくさんの人が見られるSNSです。**



世界中の人が、公開した写真や動画をみることができ

SNSの種類

YouTube（ユーチューブ）やTwitter（ツイッター）は、**たくさんの人が見ることができると、なかには悪い人もいます。**

写真を勝手に広められたり、住所を知られたりしてしまいます。



SNSの種類



この撮った写真は、どんな人が見ているのでしょうか？

メッセージや写真を送った相手だけが見ることができ

SNSの種類

LINE（ライン）は、**友だちや家族など、決められた人だけが見られるSNSです。**



送った相手だけが、写真や動画を見たり、メッセージをやりとりしたりすることができます。

5枚の写真を、3つのグループにわけてみよう！



こたえ

5枚の写真を、3つのグループにわけてみよう！



こたえ

やってみよう！

たくさんの人が見るSNSに公開してもよい写真をとって、クラスで発表してみよう！



まとめ

YouTube（ユーチューブ）やTwitter（ツイッター）は、**たくさんの人が見られるSNSです。**

LINE（ライン）は、**友だちや家族など、決められた人だけが見られるSNSです。**

だれが見ているかを考えながら、SNSを使いましょう！

「SNS を使ったコミュニケーション」を考えてみよう

授業のねらい

- ・「言われて嬉しい言葉・嫌な言葉」を分類し、他者と比較することを通して、自分と他者では感じ方に違いがあることに気づく。
- ・ SNS でのコミュニケーションの特徴に関する理解を深め、スタンプの意味や意図を考えることを通して、相手や状況に応じて、適切に SNS を活用しようとする態度を養う。

授業の展開

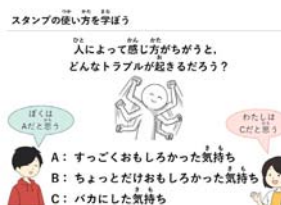
時間	学習活動	スライド内容 ○準備物
15分	<p>1. 「自分と相手の違い」を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の、普段の SNS 利用について振り返る。 ・ 本時のテーマを紹介する。 ・ 「言われて嬉しい言葉・嫌な言葉」を、カードを用いて個人で分類し、他者と比較することで、自分と他の人の感じ方の違いを考える。 	<p>やってみよう！</p> <p>○大型モニター ○PC ○授業スライド ○カード (4 枚) ○ワークシート</p>
5分	<p>2. SNS でのコミュニケーションの特徴についての紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接、相手の顔が見られる対人場面では、表情から気持ちが伝わりやすいが、SNS 上では表情が見えないため、気持ちが伝わりづらいことを説明する。 ・ SNS 上で気持ちを伝えるためには、スタンプが効果的であることを説明する。 	<p>○大型モニター ○PC ○授業スライド ○ワークシート</p>

3. スタンプの意味や選び方について考える

自分の気持ちや相手に応じて、どのようなスタンプを選んで送ればよいのだろうか。

- ・それぞれのスタンプが、どのような意図で使われているのかを考え、話し合う。
- ・場面に応じてどのスタンプを使うか選択し、そのスタンプを使うと相手がどのような気持ちになるか話し合う。

15分



- 大型モニター
- PC
- 授業スライド

4. 場面に応じたスタンプの使い方について考える

- ・学校を卒業後、会社などにおける上司や先輩との SNS のやりとりで気を付けるべきことを考える。
- ・返信がないときなど、やりとりが自分の思い通りにならないとき、どのように振る舞うべきか考える。

10分



- 大型モニター
- PC
- 授業スライド
- ワークシート

5. 本時のまとめ

- ・SNS では気持ちが伝わりにくいという特徴があることを確認する。
- ・自分の気持ちを伝えるために、スタンプを使うことが効果的であることをおさえる。

5分



- 大型モニター
- PC
- 授業スライド

ワークシート記入例

1 まじめだね


2 おとなしいね

3 いっしょうけんめいだね

4 おもしろいね

なまえ
名前 _____

イヤな言葉は 人によってちがう



おもしろいね

おもしろいね

SNS のメッセージだと

気持ち が伝わりにくい。

スタンプを使わないほうがよい「目上の人」ってどんな人たち？

A

使用例

😊
うれしい言葉

3
いっしょうけんめいだね

4
おもしろいね

イヤな言葉
😞

2
おとなしいね

1
まじめだね

B

スライド例


スライド資料、ワークシート、カードデータは、NPO 法人まちなびやホームページからダウンロードできます。

NPO 法人まちなびや ホームページ
<http://machinabiya.com>

「SNSをつかったコミュニケーション」を
考えてみよう！

はじめに


みなさんは、
LINEをつかった
LINEを使ったことがありますか？



LINEをつかって、
イヤな言葉や悪口を
送られたことはありますか？


やってみよう！

あなたが、クラスの友達から言われて
「イヤだな」と、感じる言葉は、どれ？



やってみよう！


4枚のカードを、うれしい言葉とイヤな言葉にわけてみよう！



例


やってみよう！

友だちと、おたがいのカードのわけ方をくらべてみよう！
自分と友だちと、どんな「ちがひ」があるかな？




自分と相手とのちがひ

「イヤな言葉」は人によってちがう。




SNSの特徴

会って話す場合のコミュニケーションと、
SNSでのコミュニケーションのちがひは何だろう？



会って話す場合


おもしろいね



顔が見えると、表情から気持ちが伝わりやすい。

SNSの場合


あなたは、友達に、
メッセージを送りました。



すると、その友達から、
メッセージが返ってきました。

SNSの場合


おもしろいね



SNSのメッセージだと、気持ちが伝わりにくい。
スタンプを使うと、気持ちが伝わりやすい。

スタンプの使い方を学ぼう


このスタンプは、A・B・Cのどの気持ちを表しているかな？



A 「ごめんね」
B 「ありがとう」
C 「こんにちは」

スタンプの使い方を学ぼう

このスタンプは、A・B・Cのどの気持ちを表しているかな？




人によって
感じ方がちがう
スタンプもあります

A: すごくおもしろかった気持ち
B: ちょっとだけおもしろかった気持ち
C: バカにした気持ち


スタンプの使い方を学ぼう

友だちからのお願いを「ことわる」ときは、
どのスタンプを使えばよいかな？




スタンプの使い方を学ぼう

はじめて会った人に、③④のスタンプを使うと
どんな気持ちになるかな？




スタンプの使い方を学ぼう

目上の人にメッセージを送るときには、
スタンプを使ってもよいかな？



スタンプの使い方を学ぼう

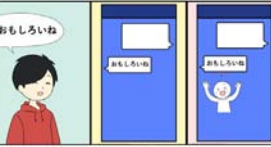
相手からの返事がないときに
スタンプをたくさん
送ってもいいのかな？



答え
相手は何をしているかは、
「既読」だけではわからない。
返事がなくても、スタンプを
たくさん送るはよくない。

まとめ

おもしろいね



SNSのメッセージだと、気持ちが伝わりにくい。
スタンプを使うと、気持ちが伝わりやすい。



実践報告

本教材の作成にあたり、静岡大学教育学部附属特別支援学校の高等部 3 年生を対象として、平成 31 年 2 月 22 日(金)の 3・4 時間目に、それぞれの教材を用いた授業実践を行った。

対象生徒は 7 名であり、高等部の卒業を控え、企業や作業所等への就労が決まっている生徒がほとんどであった。また、自分の携帯電話・スマホ・タブレットを持っている生徒も多く、LINE・YouTube・Twitter 等、何らかの SNS を使用している割合も高かった。そのため、本教材の特徴である「卒業後・就労時を見据えた内容」を生かし、卒業後の生活とも関係する内容を取り入れながら、SNS の仕組みなどを含む授業を開発・実践した。

実践の概要

SNS の「上手なつかいかた」を考えよう

1 「SNS での写真の公開」を考えてみよう (個人情報)

SNS の種類(オープン SNS・クローズド SNS)や、それぞれの SNS の投稿を見ることができる範囲、SNS における写真の公開についての授業を行った。

まず、SNS の種類(オープン SNS・クローズド SNS)に関して、「このアプリ(サイト)で写真や動画を公開したら、誰が見ることができるのか」を説明し、カード教材を用いて、「それぞれの SNS に公開してもよいもの・公開しないほうがよいもの」を分類、近くの人と話しながら考えさせた。カードを使用することで、手元でカードを見て操作しながら考えることができるうえ、話し合いの際には、他者との比較が容易にできていたようであった。

カードワークの後、「たくさんの人が見る SNS(オープン SNS)で公開してもよい写真を撮ってみよう」という活動を取り入れ、実際に写真を撮りながら、公開してもよい写真・公開してはいけない写真について考えさせた。実際に写真を撮る活動を取り入れることにより、「窓からの風景を撮っただけのつもりでも、映り込んでいる建物や場所などで、学校がばれてしまうかもしれない」ことや「友達が描いた絵は、その友達の個人情報ばばれなくても、自分のものではないから勝手に撮って公開するのはよくない」など、スライドやカード教材のみを用いた説明に比べ、より深い議論や説明が可能となった。

2 「SNS を使ったコミュニケーション」を考えてみよう(コミュニケーション)

LINE でのコミュニケーション場面を中心に、SNS におけるコミュニケーションの特徴や、スタンプの活用方法、就労時の先輩や上司などとのやりとりに関する内容を扱った。

対面では表情などから伝わる情報が SNS の文字上では伝わらず、誤解が生じやすいこと、また、スタンプを使うことで気持ちが伝わりやすくなることを説明した後、スタンプの使い方について、クイズ形式で考えさせた。激しい動きのあるスタンプを「どんな気持ちで使っているか」という発問に対する答えがわかれ、「人によって感じ方がちがうスタンプがあること」「そのようなスタンプを使ってしまうと、トラブルになってしまう可能性があること」について、体験的に学習することができていた。

そして、卒業後の社会生活を見据えた内容として、「目上の人にスタンプは使ってもよいか」「会社を休みたいときに LINE で連絡してよいか」など、職業生活の中で求められるコミュニケーションスキルについて考えさせた。「あまりスタンプを使わないほうがよい『目上の人』とは、どんな人のことか」という発問を入れたことにより、社会生活で関わることとなる具体的な人を想像しながら考えることができており、卒業後にも生かすことができる内容となった。



授業に関する生徒アンケートの結果

1. 今回の授業は楽しかったですか？

1 個人情報	とても楽しかった	7
2 コミュニケーション	とても楽しかった	7

2. 授業の内容がわかりましたか？

1 個人情報	よくわかった	6	少しわかった	1
2 コミュニケーション	よくわかった	6	少しわかった	1

3. 授業で学んだことは、これからの生活の役に立つと思いますか？

1 個人情報	役に立つ	6	少し役に立つ	1
2 コミュニケーション	役に立つ	6	少し役に立つ	1

4. ネット・SNSの利用について、もっと学ぶ必要があると思いますか？

1 個人情報	とてもそう思う	2	5	少しそう思う
2 コミュニケーション	とてもそう思う	4	3	少しそう思う

授業後の生徒の感想

1 「SNSでの写真の公開」を考えてみよう (個人情報)

- ・ SNSでの写真の公開を、してもいいものと、してはいけないものが分かりました。SNSで写真の公開はしていませんが、もしやるとしたら、これから気を付けて公開したいです。
- ・ SNSの種類や、公開してもいい写真と、公開しないほうがいい写真があることが分かってきました。公開する前に考えていきたいと思いました。

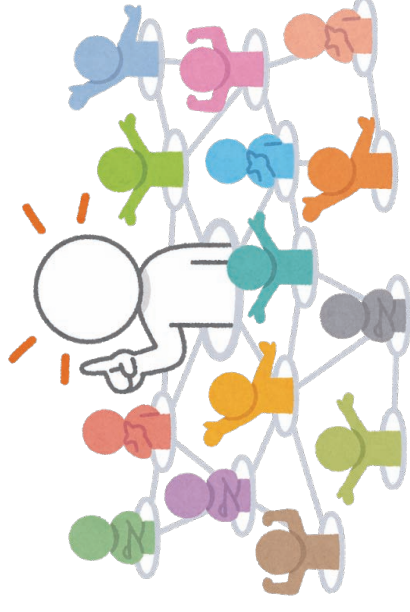
2 「SNSを使ったコミュニケーション」を考えてみよう (コミュニケーション)

- ・ LINEのスタンプは気持ちが伝わりやすいことを知りました。スタンプは便利ですが、目上の人には使わないことも分かりました。勉強になってよかったです。
- ・ 目上の人には、しっかり電話などを使い、連絡したほうがいいと思いました。後輩にも伝えたいです。

YouTube（ユーチューブ）・Twitter（ツイッター）

エスエヌエス
が見られる SNS です。

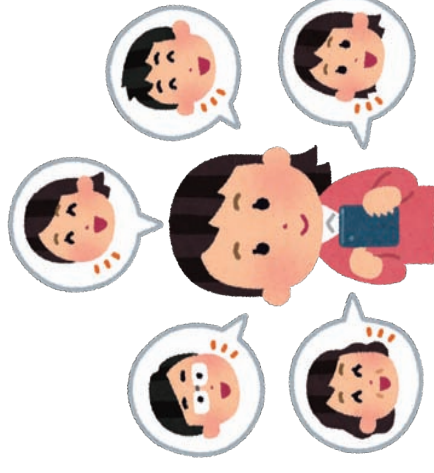
世界中の人が、写真や動画を見ることができま

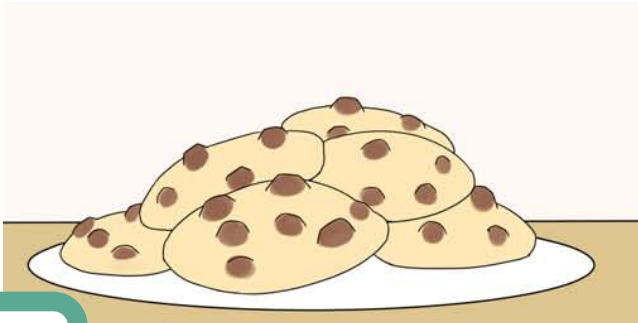


LINE（ライン）

エスエヌエス
が見られる SNS です。

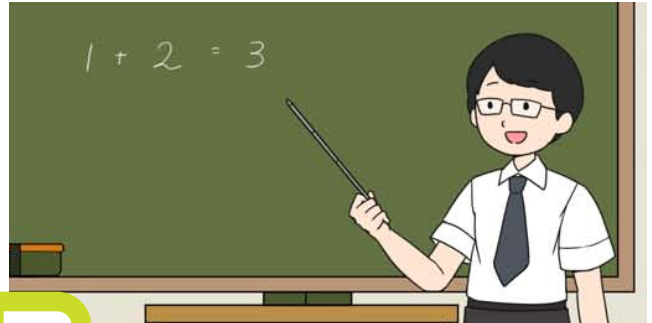
送った相手だけが写真や動画を見たり、
メッセージをやりとりしたりできます。





1

自分で作ったクッキーの写真



1

先生のことをこっそりとした写真

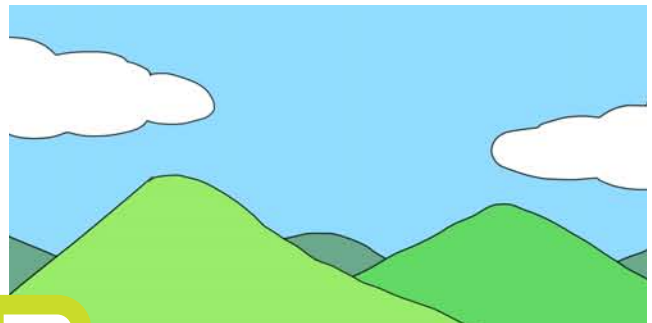
〒422-8529

静岡県 静岡市

すろが区 大谷 836

2

自分の住所が写った写真



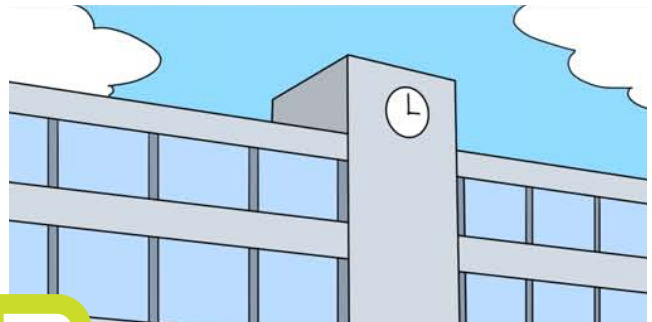
2

修学旅行でとった風景の写真



3

友達と一緒にとった写真



3

自分の学校をとった写真



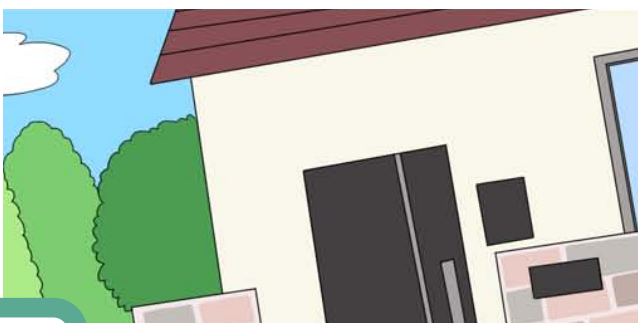
4

はだかでポーズをした写真

054-1234-5678

4

自分の電話番号がのった写真



5

自分の家をとった写真



5

自分の筋トレの成果をとった写真

たくさんひとの人が見る
SNSエヌエスに公開こうかいしても良い

決められた人ひとにだけ
送おくってもよい

SNSエヌエスに公開こうかい
しないほうがよい

1

まじめだね

3

いっしょう
けんめいだね

2

おとなしいね

4

おもしろいね

ことば
イヤな言葉は

おもしろいね



おもしろいね

エスエヌエス

SNSのメッセージだと

つた
が伝わりにくい。

つか
スタンプを使わないほうがよい「目上の人」ってどんな人たち？

1

まじめだね

1

まじめだね

2

おとなしいね

2

おとなしいね

3

いっしょう
けんめいだね

3

いっしょう
けんめいだね

4

おもしろいね

4

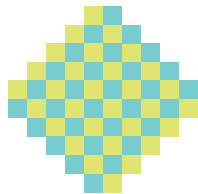
おもしろいね



ことば
イヤな言葉



ことば
うれしい言葉



特別支援教育向け情報モラル教材
SNSの「上手なつかいかた」を考えよう
SNSでのソーシャル・スキルのトレーニング

制作：NPO法人まちなびや
制作協力：静岡大学教育学部 塩田研究室
静岡大学教育学部 香野研究室
デザイン：アラサキデザインスタジオ

2019年3月